



## 北海道開発計画調査等説明会を開催します

～平成28年度調査結果及び訪日インバウンドの動向について～

室蘭開発建設部は、平成28年度に北海道開発局が実施した北海道開発計画調査結果及び訪日インバウンドの動向について、説明会を下記のとおり開催します。

本説明会は、平成28年度に実施した調査(北海道開発局)及び訪日インバウンドの動向等(北海道運輸局)について説明、意見交換を行うとともに、地域の課題解決に向け、調査成果の今後の広範な活用や地域の連携・協働などについて、皆さま方と検討していくことを目的に開催するものです。

なお、北海道開発計画調査は、北海道総合開発計画の企画、立案及び推進に必要な調査として北海道開発局が毎年度実施しています。

### 記

- 1 日 時 平成29年11月7日(火) 13時30分～15時40分
- 2 場 所 室蘭開発建設部 1階大会議室(室蘭市入江町1番地14)
- 3 内 容 (1)北海道開発計画調査の概要  
(2)北海道ドライブ観光促進方策検討調査  
(3)訪日インバウンドの動向及び訪日外国人旅行者受入環境整備事業について
- 4 対象者 自治体職員、観光業関係者、まちづくり団体関係者等 (一般の方も参加可能です)
- 5 その他 参加を希望される方は、11月2日(木)までに、以下のいずれかの方法で、問合せ先の地域振興対策室までご連絡ください。  
(電話)0143-25-7053  
(FAX)0143-22-8842  
(E-mail)hkd-mr-chiikisinko@ml.mlit.go.jp

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部

地域振興対策室 地域振興対策官 木全 裕示 (0143)25-7053  
地域振興対策室 地域振興専門官 北村 陽子 (0143)25-7053

室蘭開発建設部ホームページアドレス <http://www.hkd.mlit.go.jp/mr/>



# 北海道開発計画調査等説明会 参加申込書

FAX : 0143-22-8842

室蘭開発建設部 地域振興対策室 行

所属	
氏名	
連絡先	

※ご記入いただいた個人情報につきましては、説明会に関する事務のために利用させていただきます、それ以外の目的には使用いたしません。

■メールでお申込みの場合は、上記項目を本文に入力の上、以下のアドレスへ送信ください。

Mail : [hkd-mr-chiikisinko@ml.mlit.go.jp](mailto:hkd-mr-chiikisinko@ml.mlit.go.jp)

【問合せ先】

〒051-8524 室蘭市入江町1番地14  
北海道開発局 室蘭開発建設部 地域振興対策室  
担当：地域振興対策室長 木全  
地域振興専門官 北村

TEL : 0143-25-7053

FAX : 0143-22-8842



# 北海道ドライブ観光促進方策検討調査

## ■調査の背景

近年、北海道を訪れる外国人観光客は増加しており、平成27年度では200万人を超えた。また、訪日外国人観光客の旅行形態も団体旅行から個人旅行へニーズが移ることで、レンタカーを利用する外国人観光客も増えている。

また、平成28年3月に閣議決定された、8期目となる北海道総合開発計画の中でも、世界水準の観光地の形成として「世界に通用する魅力ある観光地域づくり」の中で、「広域的な観光周遊ルートの形成」を促進することが位置づけられている。

## ■調査の目的

本調査は北海道の地域的、季節的に偏在している旅行需要を、近年急増している外国人ドライブ観光客を閑散期に地方部へと誘導する取組みにより、地域的、季節的な旅行需要の平準化と更なる外国人ドライブ観光の推進を図るため、調査を実施するものである。



## ■H28年度調査内容（調査年度：H28年度～H29年度）

1. 北海道観光と海外における旅行需要の基礎情報の収集整理
  - (1) 道内地域別外国人観光客入込動向および観光資源等の整理
  - (2) 海外旅行需要の整理
2. 観光施設等の特典をまとめた媒体を用いた社会実験の実施
  - (1) 専用ウェブサイトの作成・運営
  - (2) 社会実験の広報
  - (3) 特典媒体の作成・配布
3. 社会実験の効果検証、課題整理および平成29年度社会実験の企画・準備
  - (1) 利用者アンケート、移動経路調査の実施、分析
  - (2) 社会実験関係機関へのアンケート調査の実施、効果検証、課題整理等
  - (3) 平成29年度社会実験の企画準備
4. 「観光パス」本格導入時の運営体制の検討
  - ・ 海外事例調査、国内事例調査、運営体制検討

## ■北海道ドライブ観光パス社会実験協議会

当調査結果を活用して社会実験の実施に際し、必要な検討・助言をいただくため行政関係者・観光関係者・商工関係者からなる「北海道ドライブ観光パス社会実験協議会」を設置。全4回開催。

### 【 協議会構成機関 】

北海道開発局、北海道運輸局、北海道、札幌エアラインズアソシエーション、札幌地区レンタカー協会、シーニックバイウェイ支援センター、全国旅行業協会、日本自動車連盟、日本旅館協会、日本旅行業協会、NEXCO東日本、ひがし北海道観光事業開発協議会、北海道観光振興機構、北海道空港、北海道経済連合会、北海道商工会議所連合会、北海道地区「道の駅」連絡会、北海道地区レンタカー協会連合会、きた北海道広域観光周遊ルート推進協議会、北海道商工会連合会、ナビタイムジャパン



▲北海道ドライブ観光パス社会実験協議会開催状況

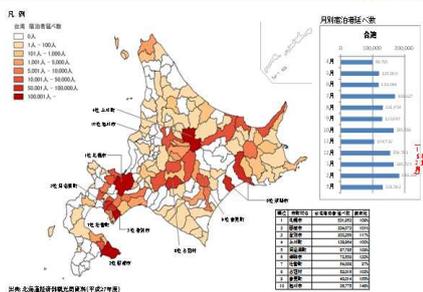
※H29年度は「北海道ドライブ観光促進社会実験協議会」に改称し、構成員を増やして開催中。

# ■調査結果

## 1. 道内地域別外国人入り込み動向と海外旅行需要の整理

- 平成25～27年度の3ヶ年において、北海道に訪れた外国人の入込動向を国別に整理。
- その結果を用いて道内17エリア別の観光資源の情報と照らし合わせ、需要喚起に向けたマッチングが見込まれる観光エリアと観光資源を抽出・整理。

03台湾1：外国人宿泊費延べ数【平成27年】



▲外国人宿泊者延べ数(参考)

表 国別旅行需要の特徴と道内観光エリアとの整合性(参考)

対象国	「休暇制度」より	「海外旅行シーズン」より	「海外旅行先」より	「主要観光目的」より	「都道府県別宿泊人数」より	マッチングする観光資源例とエリア(表中の番号はエリア番号)
台湾	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校は1・2月の春節と夏期に長期休暇。</li> <li>祝祭日では春節が6日間程度。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通年で高い旅行需要あり。2016年は1・2月の訪日客数に伸び。</li> <li>春節と夏期に「家族・親族」との訪日旅行が増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的・人的繋がりから中国への訪日者数が最も多い。</li> <li>日本は人気が高まっており第2位。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪日後「四季の体感」や「スキー・スノーボード」に対する期待が高くなり、雪に対する憧れが強い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京都、大阪府に次いで北海道は第3位。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【時期:1～2月/テーマ:雪、家族】</li> <li>・スノーシューター(富良野等)②</li> <li>・スノーモービルランドインシズ別⑩</li> <li>・ワカサギ釣り⑬</li> </ul>

## 2. 平成28年度「北海道ドライブ観光パス社会実験」の実施

- 「北海道ドライブ観光パス」社会実験が円滑に進められるように、広報・PR資料を作成。

### 【社会実験概要】

- 実験期間 平成28年10月1日～11月30日(61日間)
- 対象者 主にレンタカーを利用する外国人観光客
- 特典提供施設 124施設(ひがし北海道地域)
- 海外在住外国人への広報結果
  - ⇒チラシ配布 5,550枚
  - HP閲覧 2,997アクセス(H28.9.16-12.15海外からのアクセスのみ)
- クーポン冊子(英語, A5判36ページ)配布結果 ⇒ 2,083冊
  - 道内のレンタカー店舗(200店舗)、JNTO認定外国人観光案内所(4箇所)で配布。配布数は全道の外国人へのレンタカー貸渡台数の約2割に相当。



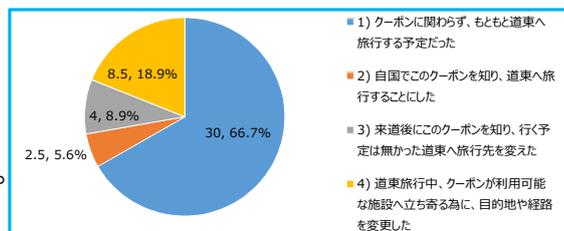
▲クーポン冊子

## 3. 「北海道ドライブ観光パス社会実験」効果検証

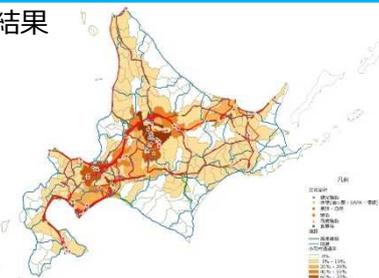
アンケート調査および携帯電話(GPS)による移動経路調査より社会実験の効果を整理。

- 29施設で60冊113枚のクーポンが利用された。
- エリア別では上川が過半数の61枚(8施設)、釧路根室28枚(10施設)、林-ツ21枚(9施設)、十勝3枚(2施設)。
- 最も利用された施設は「大雪山層雲峡・黒岳ロープウェイ」で33枚。
- アンケート回答者の約3割がクーポンを知り、旅行先の選定で影響があったと回答。
- 移動経路は、ひがし北海道エリアにおいて上川地域の通過率が高いことを把握した。

(旭川市及び美瑛町の通過率80%を超え、上富良野町・中富良野町・富良野市の通過率も60%)



▲アンケート結果



▲移動経路図

## 【参考】平成29年度「北海道ドライブ観光促進社会実験」概要

実験期間：平成29年9月1日～11月30日(91日間)

対象地域：札幌市を除く北海道全域

対象者：主にレンタカーを利用する外国人観光客及び外国永住権を保有する日本人

観光情報：339資源 特典提供施設：249施設

特典媒体：スマートフォン用アプリケーション(「Drive Hokkaido!」7月18日リリース)

※社会実験協働実施者(パートナー)(株)ナビタイムジャパンの開発・提供

対象言語：英語/中国語(繁体字) ※英語版先行リリース

ホームページ：<http://hokkaido.japandrive.com>(日本語/英語/中国語(繁体字)) ※日本語・英語版先行公開